

## KVP - 蒸発圧力調整弁

KVP 蒸発圧力調整弁は、冷凍冷蔵装置及び空調装置の吸入ラインに取付けられます。  
KVPは、蒸発器を定温に相当する一定圧力に維持するために使用されます。

KVPはまた、圧力が設定値以下になった時に弁を絞ることで、蒸発圧力が低くなりすぎないように保護します。

### 特長 KVP



ハーメチックろう付構造

ステンレス製ベローズ

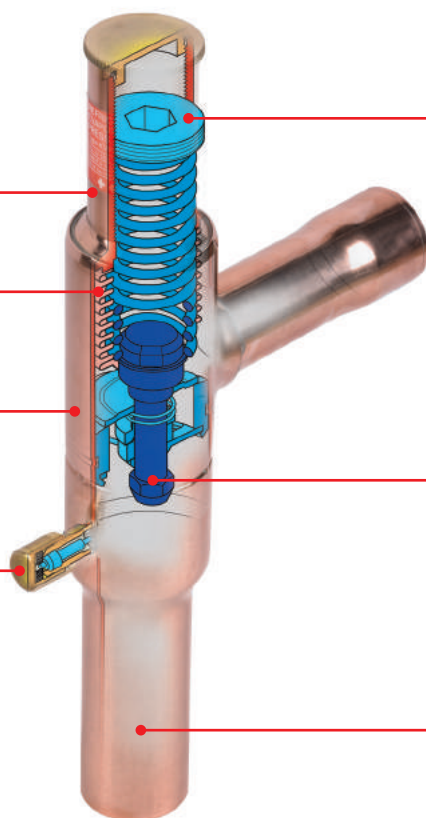
コンパクトなアングル設計で  
どの位置でも簡単に取付け可能

圧力設定のための  
1/4 in シュレータ弁

六角棒スパナで  
設定圧力を正確に調節

脈動減衰設計

フレアまたはろう付接続



### 概要

#### 用途:

- ・ 冷凍冷蔵
- ・ 空調装置
- ・ 低温室
- ・ ディスプレイキャビネット

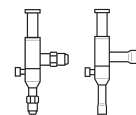
- ・ KVP は、1 台のコンプレッサで2 台以上の蒸発器へ蒸発圧力を分化するために使用することができます。
- ・ 蒸発圧力が低すぎる場合の保護: 調整弁は、蒸発器の圧力が設定値より低くなった時に閉じます。
- ・ 広い能力と作動範囲

- ・ 調整範囲: 0 – 5.5 bar / 0 – 80 psig
- ・ 適合冷媒: HFC
- ・ 最高使用圧力:  
PS / MWP = 18 bar / 260 psig

## テクニカルデータとコード番号

### KVP - 蒸発圧力調整弁

#### コード番号



形式	定格容量[kW] / [TR] <sup>1)</sup>								接続タイプ	接続寸法		コード番号
	R22		R134a		R404A / R507		R407C			[in]	[mm]	
	[kW]	[TR]	[kW]	[TR]	[kW]	[TR]	[kW]	[TR]				
KVP 12	4.0	1.3	2.8	0.9	3.6	1.2	3.7	1.2	フレア <sup>2)</sup> <sup>3)</sup>	½	12	034L0021
	4.0	1.3	2.8	0.9	3.6	1.2	3.7	1.2	ろう付 ODF <sup>3)</sup>	½	—	034L0023
KVP 15	4.0	1.3	2.8	0.9	3.6	1.2	3.7	1.2	フレア <sup>2)</sup> <sup>3)</sup>	¾	16	034L0022
	4.0	1.3	2.8	0.9	3.6	1.2	3.7	1.2	ろう付 ODF <sup>3)</sup>	¾	16	034L0029
KVP 20	4.0	1.3	2.8	0.9	3.6	1.2	3.7	1.2	ろう付 ODF <sup>3)</sup>	¾	—	034L0275
KVP 22	4.0	1.3	2.8	0.9	3.6	1.2	3.7	1.2	ろう付 ODF <sup>3)</sup>	¾	22	034L0025
KVP 28	8.6	2.8	6.1	1.9	7.7	2.6	7.9	2.6	ろう付 ODF <sup>3)</sup>	1 ½	—	034L0026
KVP 35	8.6	2.8	6.1	1.9	7.7	2.6	7.9	2.6	ろう付 ODF <sup>3)</sup>	1 ¾	35	034L0032

<sup>1)</sup> 定格容量は以下の条件での容量です。

— 蒸発温度  $t_e = -10\text{ }^{\circ}\text{C} / 14\text{ }^{\circ}\text{F}$

— 凝縮温度  $t_c = 25\text{ }^{\circ}\text{C} / 100\text{ }^{\circ}\text{F}$

— 調節弁の圧力損失  $\Delta p = 0.2\text{ bar} / 2\text{ psi}$ 、補正値  $= 0.6\text{ bar} / 9\text{ psi}$

<sup>2)</sup> フレアナットは同梱されていません。フレアナットは別売です：½ in / 12 mm - コード番号 011L1103、¾ in / 16 mm - コード番号 011L1167。

<sup>3)</sup> 弁の接続口におけるガス流速が 40 m/s を超えると騒音が発生します。弁の接続口径は小さすぎるものを選択しないでください。

#### 応用例

